

大豊村の概要

位置 東経 133度37分 北緯 33度56分
 面積 320.54平方杆 東西 32杆
 南北 28杆 部落数 88
 人口 12,758 男 6,099 女 6,659
 世帯数 3,719 (3月末現在住民基本台帳調)



昭和46年4月30日発行

全世帯配布

編集 館報大豊編集委員会

発行 大豊村中央公民館

印刷 高知印刷株式会社



三谷泉水氏



西岡治郎氏

選挙

西岡氏(前)が当選

三谷泉水氏は引退

四月十一日に行なわれた高知県議会議員選挙は、即日開票の結果前村長の西岡治郎氏が当選、長岡郡(大豊村、本山町)選出の県議員として今後四年間、県政にたずさわることになりました。

昭和三十九年十一月以来、県議員として活躍された三谷泉水氏は、このたびは引退を表明して、県政界から引退されました。三谷氏は、昭和三十四年四月合併初代会議として、昭和三十九年十一月まで九年七ヶ月間、和を基調とした合併大豊の村づくりに貢献され、県議員選後はひたすら嶺北発展のために尽くされました。

愛情と誠実の施政



門田村長

総額六億余を計上 門田村長方針を説明

三月議会

開会冒頭、門田村長が「村の総合開発振興計画を軸として、きめこまかい愛情と誠実の行政で明るい村づくりを積極的に進めていきたい」とあいさつ、全町村議長から表彰された鈴木友茂議長、寺石由雄議員の両名に表彰状を伝達したあと、門田村長からおおむね次のような提案理由の説明がなされました。

本議会は、門田村長就任後初めてのことであり、議員の任期中における定例会としては最後のものではあつただけに、このほか慎重審議を重ねられ、多年の懸案であった、小選挙区制を廃止するための議案が議員提案され、満場一致で議決されたこと(本年五月一日から実施)、門田前助役の村長就任に伴う後任助役として行政課長の小笠原武英氏を選任することに同意したことなど、この二議案については常任委員会付託の必要なしとして他の議案から分離可決したことなどが主な特徴といえるように、人口は国全体として

基盤整備の充実

少して実は一萬二千四百四十人となつたのである。こうした現象に対処するため、昨年度制定された過疎地域対策緊急措置法にもつき、過疎地域振興計画を樹立し、これが実現に鋭意努力しつゝあるところであるが、現実には国の財政ワケが当初の予想に比し意外に厳しく、これが全面実施は予断を許さぬ情勢となつてき

少して実は一萬二千四百四十人となつたのである。こうした現象に対処するため、昨年度制定された過疎地域対策緊急措置法にもつき、過疎地域振興計画を樹立し、これが実現に鋭意努力しつゝあるところであるが、現実には国の財政ワケが当初の予想に比し意外に厳しく、これが全面実施は予断を許さぬ情勢となつてき

農林業の振興

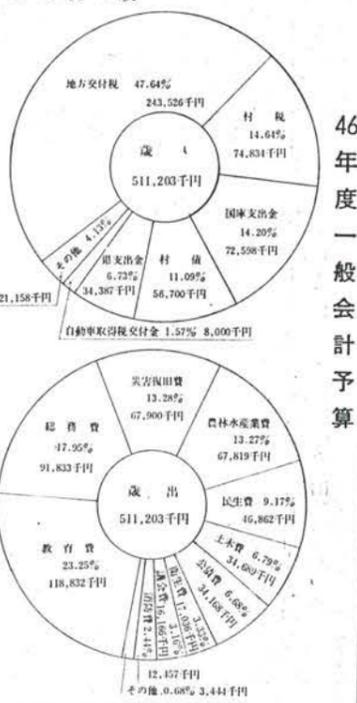
農林業の振興については、本年度は「農業振興地域に指定されたので、農地利用計画、生産基盤の整備開発の意見を十分斟酌し、完全なる体制を整った段階において処置したい」と考えている。

国民健康保険については、前年度より一千三百二十四万三千円増額しているが、その主たるものは保険給付費である。一人当りの受診件数、療養費とも増加の傾向にあり、従つて本年度においては税率の引き上げも止むを得ない実情となつていゝ。何れ改めて御審議賜りたいのでよろしく願う。なお基本的には一般保健行政の充実等により住民の健康づくりに意を尽くしたい。

文教施策

議会ならびに住民の方々の格別の御協力によって、大豊中、豊永小と、村行政上短年度としては前回の事業が遂行され、その整備が完了したが、児童生徒の減少が進行している現状から、更に適正規模を目標とする統合整備の必要に迫られていゝ。

即ち、四十六年度においては過疎地域進行計画に基づき、立川中学校の大杉中学校への統合、それに伴う寄宿舎の建築を実施する。また、給食の合理化を図るため給食センターの整備、老朽危険のたため改築する。また、大田分校等の事業を中心に施設の充実が図られる。



保健衛生

県各出先機関ならびに村内医師等の御指導、御協力を賜り、予防対策に一段と努力したい。

生活環境整備としては、住居が散在しているため普偏性に欠けるうらみがあるが、飲料水等の確保については集落補強事業等を通じ逐次整備をすすめていゝ。また懸案のごみ焼却場設置については、昨年来研究を進めているが運営に遺漏なきを期するため、なお受益者の意見を十分斟酌し、完全なる体制を整った段階において処置したいと考えていゝ。

老人クラブの美德

岩原、大久保を結ぶ大岩橋のたもと(岩原側)に、この橋の架設に伴う先人の遺徳を偲ぶ碑徳頌が建てられ、去る三月二十一日建設政務次官田村良平氏、官田村良平氏、妻、県社協藤平事務局長、門田村長、寺石教員、委員、をばじめ関係者多数が集まって盛大な除幕式を行いました。

この記念碑は、旧岩原校

大岩橋に頌徳碑 四十余年の昔をしをのぶ

岩原、大久保を結ぶ大岩橋のたもと(岩原側)に、この橋の架設に伴う先人の遺徳を偲ぶ碑徳頌が建てられ、去る三月二十一日建設政務次官田村良平氏、官田村良平氏、妻、県社協藤平事務局長、門田村長、寺石教員、委員、をばじめ関係者多数が集まって盛大な除幕式を行いました。

この記念碑は、旧岩原校



名)が、この橋の建設に努力した先人の遺徳を後世に伝えようと工費五十万円で建設した。 題字は建設政務次官田村良平氏の揮毫で碑文は会長

大豊村の教育行政

四十六年度の方針決まる

一般行政

大豊村教育委員会では四月一日付で、本年度の教育行政方針を次の通り公表しました。

本委員会は、大豊村教育基本方針に基づき、県教育委員会との協力を得て、昭和四十六年度行政方針及び中央教育事務所指導の重点を尊重し、本村の実態に即した学校教育並びに社会教育の進展を期す。

特に教育の中立性を堅持し、学力の向上と道徳心の高揚につとめ、社会の要請する新時代にふさわしい知性、情操、実践力をもつ心身共に健康である児童生徒ならびに大豊村民の育成にたゆまない努力をつづける。

本委員会は、大豊村教育基本方針に基づき、県教育委員会との協力を得て、昭和四十六年度行政方針及び中央教育事務所指導の重点を尊重し、本村の実態に即した学校教育並びに社会教育の進展を期す。

特に教育の中立性を堅持し、学力の向上と道徳心の高揚につとめ、社会の要請する新時代にふさわしい知性、情操、実践力をもつ心身共に健康である児童生徒ならびに大豊村民の育成にたゆまない努力をつづける。

学校教育

教育課程の改訂(中学校47年度)に伴い、本村の実態に即した新教育課程の編成を樹立し、円滑な学校運営に努める。

教育課程の編成に伴う学習指導要領の研究

教育機器の導入とその活用

授業時間の確保

校内外の連携

現職教育の強化

校内研究、個人研究、管理職研修をすすめること

各地教育充実のため各種研修会、講習会を積極的に推進する。

前年度の校内研究の成果に基づき、さらに前進した学校教育を確立させる。

教育機器の活用について村内研修を行う(OHP)

村指定研究校を次のよう

昭和44年、同45年度指定研究校であった天坪小学校の研究成果をさらに向上推進をはかる。

穴内中学校

以上五議案は改正の趣旨、内容等ほとんど同様であるので、一括して説明する。最近の物価の実態および一般賃金の上昇等を考慮し、さらに類似団体の実情等を勘案し、委員及びその他の者の報酬、費用弁償等の改定を行なうことが適当であると考へて提案した。

第十五号村道廃止に関する専決処分承認議案(村道古屋谷線および林道堀ヶ森線の開設に伴い、村道古屋谷線および村道佐賀山線が重複線となるため、両線の廃止を専決処分したの承認を願うもの。

第十六号中学校廃止に関する議案(立川中学校を大杉中学校へ統合するため、立川中学校を廃止するもの)第十七号中学校統合に関する議案(本村の学校教育施設整備計画基本構想に基づき、中学校の適正規模による教育を推進し、教育効果の向上を図るため立川中学校を大杉中学校へ統合することが適当と考へて提案した。

第十八号大豊村助役選任同意議案(空席となつてい

学力水準の向上 道徳教育を強化

水等地すべり防止事業、が理解と協力により強力なるけくすべり防止対策事業については、引き続き強力に運動し、事業ワタの確保せしめ、民生の安定に確実につとめたい。なお、昨年来、促進同盟会を結成、強力に運動を進めてきた吉野川直轄砂防事業については、委員さん方の努力によって、本省においても認められることとなり正式ではなないが本年度着工の運びになるやに伺っている。

相当の規模をもつ本事業が実施のあかつきには、国土保全上極めて多大の効果も期待できるものと考へて、本年事業については、国庫補助の増額等につき、今後一層の働きかけをする必要があると考へて、積極的に努力する所存である。

消防団員の献身的な御努力と住民の平素の御注意により、最近さしたる大いなる災害等の発生をみていない事は誠に喜ばしむべきである。過疎化のすすむ今日、私共は消防力の退却に少なからず不安を抱いていたが、幸にして積極的な

以上、主要なる施政の方針について述べたが、これにより昭和四十六年度の当初予算は一般会計五億一千九百三十三万三千円(前年度対比二九・四増)、国民健康保険一億一千六百三十三万七千円(二・二増)、簡易水道五百九十六万七千七百七十四円(四・一増)、代替輸送百七十一万七千七百七十四円(一・一増)増を計上した。

合計六億三千五百二十三万七千七百七十四円(二・六増)を計上した。

引き続き予算以外の議案について説明する。

第六号村内工場又は事業場に対する村税の課税免除に関する条例案(本案は、村の発展の一環として、村内の発展に寄与する事業場を育成し、村内の新設工場等に対する固定資産税を免除することが適当であると考へて提案した。

第七号大豊村交通安全対策案(本案は、日累増す村内における交通安全を確保し、住民福祉の増進を図るため、交通安全対策を樹立し、交通安全対策を樹立することが適当であると考へて提案した。

第八号村立中学校および小学校設置条例の一部を改正する条例案

第九号大豊村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案(本案は人事院勧告に基づく給与法の改正に伴い、通勤手当の標準額を改正するほか、等級制を改め、適正な人事管理と職務意欲の向上を図るため提案した。

第十号大豊村議会議員等報酬および費用弁償支給条例の一部を改正する条例案(第十号大豊村議会議員等報酬および費用弁償支給条例の一部を改正する条例案)第十一号議案および公職選挙法に基き、選挙権および当選の効力に関する条例の一部を改正する条例案(第十号大豊村議会議員等報酬および費用弁償支給条例の一部を改正する条例案)第十二号大豊村議会議員等報酬および費用弁償支給条例の一部を改正する条例案(第十号大豊村議会議員等報酬および費用弁償支給条例の一部を改正する条例案)第十三号大豊村議会議員等報酬および費用弁償支給条例の一部を改正する条例案(第十号大豊村議会議員等報酬および費用弁償支給条例の一部を改正する条例案)第十四号大豊村議会議員等報酬および費用弁償支給条例の一部を改正する条例案(第十号大豊村議会議員等報酬および費用弁償支給条例の一部を改正する条例案)第十五号大豊村議会議員等報酬および費用弁償支給条例の一部を改正する条例案(第十号大豊村議会議員等報酬および費用弁償支給条例の一部を改正する条例案)第十六号大豊村議会議員等報酬および費用弁償支給条例の一部を改正する条例案(第十号大豊村議会議員等報酬および費用弁償支給条例の一部を改正する条例案)第十七号大豊村議会議員等報酬および費用弁償支給条例の一部を改正する条例案(第十号大豊村議会議員等報酬および費用弁償支給条例の一部を改正する条例案)第十八号大豊村議会議員等報酬および費用弁償支給条例の一部を改正する条例案(第十号大豊村議会議員等報酬および費用弁償支給条例の一部を改正する条例案)

防災

公有林整備

代替輸送

昭和三十八年度は、公有林整備(立川分収造林)、補植(立川分収造林)、育成に万全を期したい。また、最近の人手不足は公有林整備においても例外ではなく、雇用に困難を生じはじめたため、これが対策として遠隔地からでも容易に送迎できるように車輛の購入を計画した。

昭和三十八年度は、公有林整備(立川分収造林)、補植(立川分収造林)、育成に万全を期したい。また、最近の人手不足は公有林整備においても例外ではなく、雇用に困難を生じはじめたため、これが対策として遠隔地からでも容易に送迎できるように車輛の購入を計画した。

昭和三十八年度は、公有林整備(立川分収造林)、補植(立川分収造林)、育成に万全を期したい。また、最近の人手不足は公有林整備においても例外ではなく、雇用に困難を生じはじめたため、これが対策として遠隔地からでも容易に送迎できるように車輛の購入を計画した。

